

英 坂本さんが英語絵本を寄付 語に慣れ親しんでもらいたい

12月12日（水） 市長室

神岡町で移動スーパーを経営している坂本佳祐さん、坂本良威さんから、市内の子どもたちに英語に慣れ親しんでもらいたいと、英語絵本を寄贈していただきました。

この日は、市長室で移動スーパーのお客さんからの募金で購入した、「音のでる絵本」、「英語カード」、「英語辞典」などの絵本20冊を都竹市長に手渡しました。

坂本佳祐さんと良威さんは「この絵本に触れて、英語に興味を持って欲しいです」「世界に羽ばたいて、将来地元に戻ってきて貢献してほしいです」と話しました。



英語絵本を手にする坂本さんら

地 「YCK プロジェクト」が文部科学大臣賞を受賞 地域の皆さんの協力に感謝

12月7日（金） 市長室

吉城高校が地域と連携、協働して取り組んでいる「吉高地域キラメキ(YCK)プロジェクト」が文部科学大臣賞を受賞し、都竹市長に受賞報告をしました。

同表彰は、地域と学校が連携して優れた教育効果を発揮している活動をたたえようと、文部科学省が実施しており、本年度は県内で4つの活動が受賞しました。

この日は、同校の鈴木健校長やキャリア推進部教員、キャリア教育コーディネーターら4人が市役所を訪れ、受賞の報告や今後の活動について都竹市長と語りました。



賞状を手にする鈴木校長（右から3人目）ら

飛 韓国で行われた大会結果を市長に報告 驃神岡高校ロボット部がメダルを獲得

12月12日（水） 市長室

飛驒神岡高校ロボット部の生徒が市役所を訪れ、10月に韓国で行われた「インターナショナルロボットコンテスト2018」の結果を都竹市長に報告しました。

大会では、同校2年生の鈴木玄起さん、鈴木伊吹さん、1年生の倉家悠里さんが国別対抗団体戦の日本チームの一員として出場し、「カーリングの部」金メダル（1位）、「ランブルの部」銀メダル（2位）、「格闘技の部」銅メダル（3位）を獲得しました。

生徒らは、受賞の喜びや大変だったこと、今後の目標などについてを都竹市長に報告しました。



獲得したメダルを手にする生徒ら

親 古川町乳幼児学級の合同クリスマス会 子で一足早いクリスマスを過ごす

12月12日（水） ハートピア古川

古川町乳幼児学級の合同クリスマス会が12日、ハートピア古川で開かれ、市内の親子ら77組154人が参加し、一足早いクリスマス気分を味わいました。

クリスマス会では、飛驒地域で音楽活動を行っている「みちくさびより&まちのおんがくしつ」の皆さんが会場を訪れ、「レットイットゴー」、「クリスマスメドレー」を歌ったり、子どもたちと一緒にからだあそびやダンスなどをしたりして楽しみました。

最後には、「サンタがまちにやってくる」の演奏でサンタクロースに扮した職員が、参加してくれた子どもたち一人ひとりにプレゼントを渡しました。



サンタクロースからプレゼントを受け取る幼児



飛騨吉城特別支援学校で餅つき交流会 年も青龍台組と餅つきで楽しく交流

12月21日（金） 飛騨吉城特別支援学校

飛騨吉城特別支援学校の生徒児童31人が殿町青龍台と青龍台青年部14人と餅つきや鏡餅づくり、花もちづくりで交流をしました。

この日は、準備された餅つきにもち米を入れると、みんなで「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声とともに生徒児童と一緒に餅つきを行いました。餅つきが終わると、一人ひとりもちを手で丸くこね鏡餅を作りました。

最後に紅白の細長いもちを、花もち飾り用の枝に丁寧に巻き付けて完成。参加した生徒児童らは終始笑顔で交流会を楽しみました。



餅つき交流会の様子

台湾新港郷から飛騨市へワーキングホリデー 本滞在中の意気込みを語る

12月13日（木） 市長室

市と友好都市提携を締結した台湾新港郷から王昭琳（ワンチャオ リン）さん、賈涵晴（チア ハン チン）さんの二人が市役所へ、飛騨市でのワーキングホリデー制度の活用について表敬訪問しました。

この制度は、日本と台湾の取り決めにより、台湾に住んでいる青少年たちが日本の文化や生活などを体験する目的で、最長1年間日本に滞在し就労を認める制度です。

この日は、毎年飛騨市に訪れている新港文教基金会の元職員のワンさん、チアさんが市長室を訪れ、12月から古川町にある料亭旅館八ツ三館に1年間勤務し、日本での滞在中に学びたいことなどについて話しました。



市長室を訪問したワンさんとチアさん（真ん中2人）

「おてつたび」を活用し酒造り体験 お手伝いをきっかけに地域のファンを増やす

12月17日（月）～21日（金） 古川町 渡辺酒造店

古川町の（有）渡辺酒造店で12月17日から21日の5日間、都会の女性2人がお手伝いを通じて地域のファンを創出する「おてつたび」を活用し酒造り体験をしました。

お手伝いは、兵庫県出身の赤木紗菜さん、東京出身の田中沙季さんの2人が参加し、早朝から酒米洗い、酒かす取りやお酒のタンクを棒でかき混ぜる権入れ作業など、5日間酒造り体験をしました。

渡辺酒造店の北場氏は、「普段手の回らないところまでお手伝いしてもらえ助かりました」と話し、参加した2人は「また観光に来たり、飛騨のお手伝いをしたいです」と話しました。



権入れ作業をする赤木さん（真ん中）と田中さん（右）

水道施設の災害応援協力に関する覚書を締結 災害時の水道施設の早期復旧を

12月20日（木） 市役所

市と（一社）吉城建設業協会は20日、災害時の停電における上下水道施設の早期復旧協力の覚書を締結しました。

この覚書は、災害時の停電等において同協会が保有する自家発電装置を使用し、上下水道施設の早期復旧を行うことを目的に定められ、市は災害による停電時等に自家発電装置が必要な場合は、応援協力を要請し、同協会は可能な範囲で協力要請に応じるものです。

締結式では、同協会の田近正英理事長と都竹市長、関係者らが出席し、「飛騨市上下水道施設の災害応援協力に関する覚書」に署名しました。



覚書を手にする田近理事長（右）と都竹市長